

## 性能仕様

項目	単位	SE-1000APG	
ボイラ種別	-	簡易ボイラ(多管式貫流ボイラ)	
取扱資格	-	免許不要	
最高圧力	MPa	0.98	
使用圧力範囲	MPa	0.49~0.88	
換算蒸発量	kg/h	1,000	
熱出力	kW	627	
ボイラ効率	%	98	
伝熱面積	m <sup>2</sup>	4.98	
保有水量	L	105	
バーナ形式	-	元混合ブラスト	
燃焼制御方式	-	多位置制御、インバータ制御	
ターンダウン比	13A	1:5	
給水制御方式	-	多位置制御、インバータ制御	
点火方式	-	ACスパーク点火	
火災検知方式	-	紫外線光電管	
乾燥重量	kg	1,350	
運転時重量	kg	1,480	
燃料消費量	kW	640	
	13A	m <sup>3</sup> (N)/h	56.7
供給ガス圧力	kPa	2.0±0.5	
使用電源	-	AC200V 3 (50/60Hz)	
設備電力	kW	3.5	
総電気容量	kVA	7.6	
内訳	送風機モータ	kW	2.2
	給水ポンプモータ	kW	1.1
	制御用	kW	0.2
電源引込線径	mm <sup>2</sup>	5.5	
電源遮断器容量	A	40	

備考：1. 性能表示は、公益財団法人日本小型貫流ボイラー協会の「ボイラー性能表示基準値」及び「小型貫流ボイラー性能表示ガイドライン」によります。

ボイラ効率の計算条件

熱勘定方式：J I S B 8 2 2 2

蒸気圧力 = 0.49 MPa、給水温度 = 15、給気温度 = 35

燃料の低位発熱量

13A : 40.6 MJ/m<sup>3</sup>(N)

2. 誤差として、以下の許容値を持つものとしております。

・ボイラ効率の誤差 ±1%

・燃焼量(入力)の誤差 ±3.5%

3. 給水温度は55以上での使用を推奨します。

4. 供給ガス圧力は、ボイラ本体入口にて、記載のガス圧力が安定して得られるようにして下さい。

5. 軟水器をボイラコントローラにて個別制御を行う場合は、AC100V(1)の電源が必要です。

6. 電源引込線径は、周囲温度40、配線距離15m以内を想定しています。

7. 製品改良のため予告なしに若干変更の行われることがありますので、ご了承下さい。